

コミニ
健康
情報

最新の大腸検査
製鉄記念室蘭病院

「カプセル内視鏡」
「大腸CT」も選択可能に

直径約1mm、
長さ約31mmの
「カプセル内視鏡」



検診率の低さが顕著な大腸検査

大腸がんは、がんの部位別死亡者数で女性第1位、男性第3位です。死亡者数の高さの要因として、大腸検査の受診率の低さが挙げられます。

「製鉄記念室蘭病院」の前田征洋病院長（消化器・血液腫瘍内科）によると、40歳以上の大腸がん検診対象者のうち、便潜血反応検査率は約25%と低く、さらに反応が陽性と診断されても、そのうち4割の人は精密検査を受けていないのが実情だそうです。

しかし、内視鏡での検査は「痛い」「恥ずかしい」というイメージがあり、抵抗感がある方も少なくないでしょう。

同院では、従来の内視鏡検査に加え、一昨年には「大腸カプセル内視鏡」、また今年2月にはCTによる大腸検査も可能となりました。3種の検査が選択できる施設は、道内でも数か所しかありません。



「40歳になったら便潜血反応検査を受けましょう」と呼びかける前田病院長

自分に合った方法を選択

「大腸カプセル内視鏡」も「大腸CT」も痛みはなく、内視鏡挿入が困難な方でも可能ですが、内視鏡検査のように、ポリープや病変が見つかった場合、その場で診断してポリープ切除や組織採取することはできません。「3種の検査は一長一短があるので、費用の面も含めてご自分に最適な検査を医師と相談しながら選択してほしい」と前田病院長は言います（表参照）。

大腸がんは早期発見・早期治療で完治する確率が高く、検診を受けることが何より重要です。ぜひ1度検査を受けてみませんか？

●製鉄記念室蘭病院 室蘭市知利別町 1-45
電話 (0143) 44-4650

	大腸内視鏡	カプセル内視鏡	大腸CT
検査法	細長い管状の内視鏡を肛門から挿入し、大腸内を直接、観察・診断します。	カプセル内視鏡を口から飲み込みます。両端の小型カメラが大腸の腸管内を撮影し、記録装置に転送された画像を読影して診断します。	肛門からカテーテルを挿入し、炭酸ガスで大腸を拡張させてCT撮影を行う。(うつ伏せ、仰向けの2回)。大腸3次元画像、内視鏡のような画像、大腸展開図などを解析・診断します。
長所	<ul style="list-style-type: none"> ○検査と同時にポリープ切除や組織採取ができる ○その場で診断できる ○検査時間が短い(約10分~30分) ○放射線被ばくがない 	<ul style="list-style-type: none"> ○痛みがない ○空気による腹部膨満感がない ○恥ずかしさがない ○放射線被ばくがない 	<ul style="list-style-type: none"> ○痛みがない ○内視鏡挿入が困難な方でも検査可能(癒着や狭窄ありでも可) ○検査時間が短い(約10分~15分) ○大腸以外の臓器診断も可能
短所	<ul style="list-style-type: none"> ○痛みや苦しさを感ずることがある(個人差有り) ○下剤服用量が比較的多い ○ひだの裏など死角あり 	<ul style="list-style-type: none"> ○下剤服用量が多い(前処置とカプセル排出促進の追加下剤服用) ○検査時間が長い(約5時間、個人差大) ○ポリープ切除や組織採取ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ○平坦病変や小病変は診断できない ○少量だが放射線被ばくがある ○ポリープ切除や組織採取ができない ○恥ずかしさを感じる人もいる
保険適応と費用	<ul style="list-style-type: none"> ○保険適応あり ○3割負担で約6000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○保険適応は限定的 ○3割負担で約3万円 ○保険外診療は約10万円 	<ul style="list-style-type: none"> ○保険適応あり ○3割負担で約6000円